

[http://www](http://www.ckkc.kochi-u.ac.jp/)

国際・地域連携センター ニュースレター 〈第8号〉

〒780-8073 高知県高知市朝倉本町2丁目17-47

TEL:088-844-8555 FAX:088-844-8556

<http://www.ckkc.kochi-u.ac.jp/>

編集責任者: 吉用

はじめに

平成24年、はじめてのニュースレターをお届けします。本年もよろしくお願い申し上げます。本年最初の大きなトピックです。

高知大学と芸西村 連携協定締結へ ～1月27日に調印式～

高知大学ではこれまで10自治体と連携協定を締結してきましたが、この1月27日に第11例目として芸西村と連携協定の締結を行います。

芸西村は環境保全型農業を推進しており、土着の天敵昆虫を使用した施設栽培や国際園芸見本市で最優秀賞を受賞したブルースターの栽培など、本学農学部との高いレベルでの連携が期待できます。一方、高齢者が多いにも関わらずハウス内での農作業に従事しており、県下自治体の中でも医療費が非常に高いという悩みを抱えています。これを改善するために本学の力が求められています。

地域課題の解決に貢献し、高知県内における存在意義を高めるため、地域との連携活動に皆様の一層の御力添えをお願いいたします。



目次

p1 はじめに

p2 地域連携・再生部門

Topic1. 秋の公開講座 今年度は全29回

Topic2. 幡多の食品加工業の一助に…

p3 産学官連携部門

Topic1. 高知県競争的資金の採択情報

Topic2. 高知の産学官連携を全国に発信するチャンス！

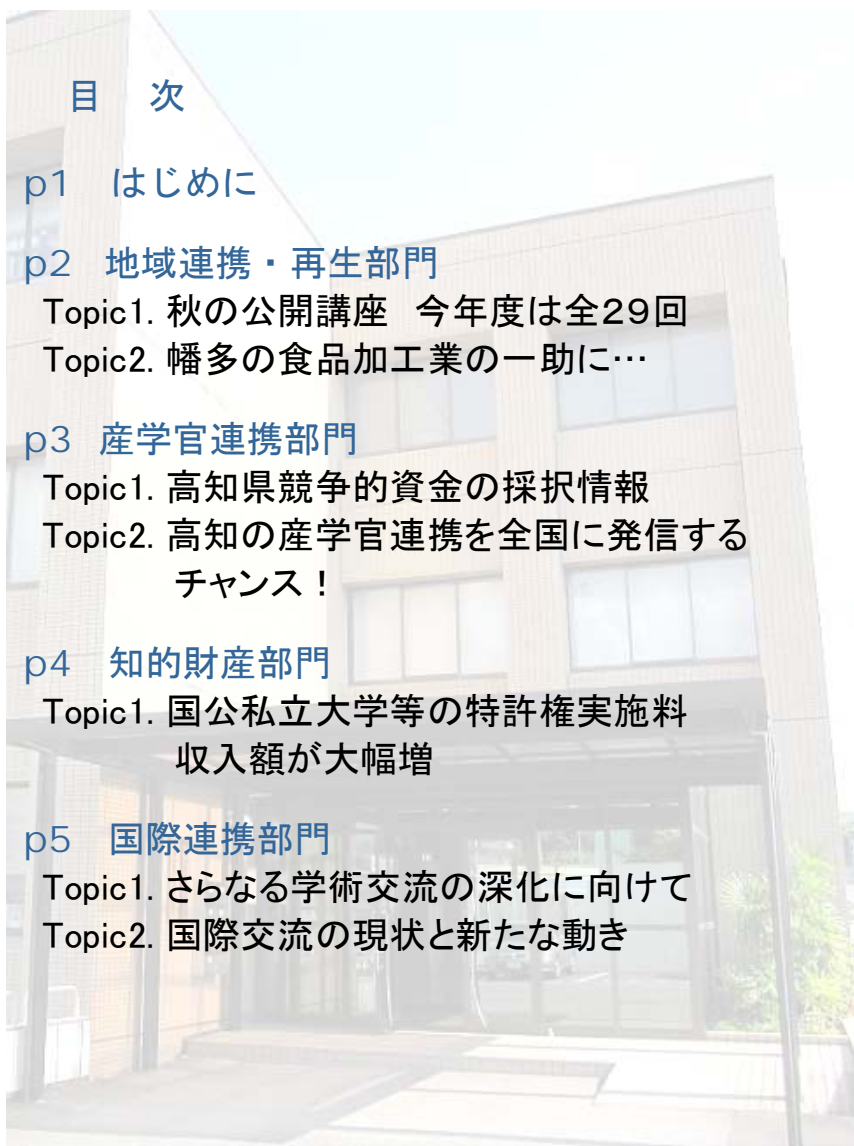
p4 知的財産部門

Topic1. 国公立大学等の特許権実施料収入額が大幅増

p5 国際連携部門

Topic1. さらなる学術交流の深化に向けて

Topic2. 国際交流の現状と新たな動き



Topic 1. 秋の公開講座 今年度は全29回 ～平成23年度 秋の公開講座の開催報告～

今年度は第1群～第3群まで全7講座、全29回の開講となりました。第3群「パラタクソノミスト養成講座」は最終となる第5回目を2月26日に残しておりますが、今年度の開催状況をご報告します。

第1群: 一般教養・現代テーマ等

講座名	講師
グラフィックデザインを楽しむ	吉岡 一洋
開発途上国論	菊池 智徳
震災を見据えた健康管理	渡橋 和政

第1群

3講座 全14回
受講者 計19名

第2群: 高知市総合調査

	講座名	講師
自然編	土佐湾の海底地形・地質とコアから読み取る環境変動	池原 実
	高知県の河川から土佐沖への物質流入とメタンハイドレートの形成	村山 雅史
	高知県の淡水・汽水域の魚類～日本の淡水魚の最近の話題～	遠藤 広光
	四国南部沿岸域の植生史	三宅 尚
	南海地震に備えるー東日本大震災の実情と反省点ー	岡村 眞
社会編	防災活動の現状と課題 ～東日本大震災を教訓に～	大槻 知史
	新しい公共とNPO	上田 健作
	高知市の財政状況と課題	霜田 博史
	高知市経済の特徴と課題	中澤 純治
	パネルディスカッション: 「これからの高知を考える 地域防災の視点から」	石筒 覚ほか 上記講師

第2群

自然編 5講座 全5回
受講者 計157名(延べ人数)
社会編 5講座 全5回
受講者 計122名(延べ人数)

第3群

1講座 全5回
受講者 計8名(第4回まで)

秋の公開講座の開催にあたり、関係各位にご尽力並びにご協力いただきましたことを心から感謝いたします。ありがとうございました。

第3群: 「環境」に関する人材育成

講座名	講師
パラタクソノミスト(準分類学者)養成講座 ー自然の記録を残す人をつくるー	松井透、岡本達哉、伊藤文紀、山崎博継、坂東治男(谷地森秀二)

Topic 2. 幡多の食品加工業の一助に… ～土佐 FBC 幡多教室 修了式～

10月8日から開講した土佐 FBC 幡多教室が12月4日に全授業日程を終え、修了式を迎えました。2ヶ月間の期間中に42時間、ほとんどの土曜日曜を授業に費やすタイトなスケジュールに加え、仕事の都合などもあり、修了規定を満たした方は20名でしたが、たくさんの受講生にご参加いただくことができました。幡多地域の食品加工業の一助としてお役に立てれば嬉しく思います。



樋口特任教授による最終回の授業
「食品分析学」



修了生との記念撮影

Topic 1. 高知県競争的資金の採択情報

～産学官連携産業創出研究推進事業 2次募集結果～

高知県は、7月1日～9月30日に産学官連携産業創出研究推進事業の2次募集を行いました。新たな研究開発要素を持ち、本県の産業振興につながる中期的研究開発事業(60,000千円/3年)です。高知大学が共同研究機関として提案を行った事業が以下のとおり採択されました。

研究テーマ	研究開発チーム
県産未利用有用植物の活用に向けた農商工医連携基盤の構築と事業化モデル	<ul style="list-style-type: none"> ・高知工科大学（代表研究機関） ・高知大学総合科学系生命環境医学部門 教授 金 哲史（共同研究者） ・高知県立大学 ・株式会社フタガミ ・高知県工業技術センター

研究開発の概要

高知県内に自生する有用植物を地域固有の「資源」ととらえ、発掘から保全育成、また産業分野での活用、さらには地域ブランドとしての商品化までを一貫して推進するための農商工医連携による取組基盤の構築を目的とする。

詳しくはこちら・・・ <http://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/151901/2j-iboshukekka.html>

平成23年度の本事業の採択結果(採択数/応募数)

1次 募集 : 2件/13件

2次 募集 : 1件/6件

合計 : 3件/19件

採 択 率 : 15.8%

採択3件のうち、本学は代表研究機関として1件、共同研究機関として1件です。

Topic 2. 高知の産学官連携を全国に発信するチャンス！

～開催決定 産学連携学会 第10回高知大会～

平成24年6月14日(木)、15日(金)に産学連携学会 高知大会が開催されます。記念すべき第10回大会であり、本学が当番校として事務局を務めます。

産学官連携の発展と、その従事者の資質向上を通じた地域振興への寄与を目的とする学会であり、多くの方にご参加、ご発表頂きたいと考えています。近日中に開催要項をお知らせいたします。

場 所：高知県立県民文化ホール(グリーンホール)及び 高知会館

主 催：特定非営利活動法人 産学連携学会

共 催：国立大学法人 高知大学

大会長：相良 祐輔(高知大学長)

実行委員長：受田 浩之(高知大学副学長、国際・地域連携センター長)



産学連携学会のシンボルマーク

「プロメテウスの火」

人類は火とそして恩恵を授かり、しかし未来を知る能力を失った。代わりに得たのは、希望であった。今、私たちは破壊と創造の火を燃やす。

Topic 1. 国公立大学等の特許権実施料収入額が大幅増 ～平成22年度 大学等における産学連携等実施状況報告～

文部科学省では、産学連携等施策の企画・立案に反映させることを目的として、大学等における産学連携等の実施状況調査を毎年行っています。平成23年11月30日、平成22年度における調査報告が取りまとめられ、公表されました。産学連携活動の指標として、特許についても詳しく報告されていますので、紹介します

(http://www.mext.go.jp/a_menu/shinkou/sangaku/_icsFiles/afildfile/2011/11/30/1313463_01.pdf)。

特許権の実施料収入額が前年度比62.3%と顕著に増加しています。東京農工大学が際立っていますが、国・公・私立とも増加しており、全体的に底上げされているものとみられます。一方で特許出願件数自体は1.4%減少しており、特許出願が量より質に移行していることが伺えます。

(結果概要からの抜粋)

調査項目	平成22年度状況	前年度比
民間企業との共同研究件数	15,544件	765件(5.2%)増加
民間企業との共同研究件数のうち 中小企業と行った件数	4,416件	148件(3.5%)増加
民間企業との共同研究件数のうち 外国企業と行った件数	185件	6件(3.4%)増加
研究費受入額	約314億円	約20億円(6.6%)増加
特許出願件数	8,675件(外国出願含む)	126件(1.4%)減少
特許権保有状況	9,396件(国内、外国)	2,826件(43.0%)増加
特許権実施等件数	4,968件	441件(9.7%)増加
特許権の実施料収入額	約14.5億円	約5.5億円(62.3%)増加
大学等発ベンチャーの設立数	47件	27件(36.5%)減少

Topic 1. さらなる学術交流の深化に向けて ～常州大学、天津師範大学との交流協定を更新～

平成23年12月19日(月)に岩崎貢三副学長(国際・地域連携担当)他2名が常州大学(中国)を訪問し、学術交流協定書の調印式に参加しました。また、岩崎副学長による高知大学の国際交流活動に関する講演及び各教授の研究に関する講演を行いました。

平成23年12月26日(月)には、遠藤教育学部長他2名が天津師範大学(中国)を訪問し、学術交流協定書の調印式に参加するとともに、キャンパス内の視察や教育学院の学生との交流を行いました。

現在、両大学からはそれぞれ3名の学生が交換留学しており、日本語や日本文化の勉強に励んでいます。今後、研究者の交流も計画しており、研究分野・教育分野でますます活発な交流が期待されます。



調印式の様子 (常州大学)



教育学院の教職員・学生との
記念撮影 (天津師範大学)

Topic 2. 国際協力の現状と新たな動き ～JICA 四国支部長による講演会を開催～

平成23年12月7日(水)に高知大学メディアの森6階メディアホールにて、国際・地域連携センター国際連携部門FD・SD研修会を開催しました。「国際協力の現状と新たな動き」と題して、長澤一秀独立行政法人国際協力機構(JICA)四国支部長を講師に、日本の国際協力の現状や、JICAの活動、求められるグローバル人材について豊富な資料をもとに講演していただきました。地域の国際交流団体やアジア人財資金構想高度実践留學生育成事業関係団体など学内外から53名が出席し、実際の活動を交えた興味深い話に聞き入りました。



長澤支部長のご講演